



JBL CHARGE 2

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止（してはいけないこと）を示す記号です。

分解してはいけないことを示す記号です。

濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

触れてはいけないことを示す記号です。

水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示に基づく行為の強制（必ず実行していたくこと）を示す記号です。

電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

警告

ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万 one の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。

付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になります。

付属品の ACアダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になります。

船舶などの直流（DC）電源には接続しない。

電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。

電源コードが破損した場合（芯線の露出や断線など）には、販売店または弊社東京サービスセンターに交換（有償）を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

テーブルタップ（延長コード）を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。

雷が降りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに ACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。

注意

濡れた手でコンセントを抜き差ししない。感電の原因になります。

長期間本機を使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く。火災・感電の原因になります。

ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っばらない。

電源コードが破損して火災・感電の原因になることがあります。

ACアダプタは、コンセントの根元まで確実に差し込む。

ACアダプタを正しく差し込まずに本機を使用すると、火災や感電の原因になります。

ほこりや湿気が多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因となります。

移動するときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。

液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

電池について以下のことに注意する。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。

火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。

使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使用のを止めてください。

電子レンジや高压容器に入れないでください。

水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。

本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。



本機の特長

- ◆ 大容量充電電池の搭載で、連続 12 時間以上のワイヤレス再生を実現 約 4 時間の充電で連続 12 時間以上のワイヤレス再生が可能。アウトドアでも積極的に、ワイヤレス音楽再生を楽しむことができます。
- ◆ スマートホンなどのモバイルバッテリーとしても使用可能 電力供給専用の USB ポートを装備しているため、スマートホンやタブレットなどの充電が可能。 内蔵の大容量 6,000mAh の電池をモバイルバッテリーとして使用することができます。 * USB ポートは電力供給専用です。USB ポート経由で音楽再生することはできません。
- ◆ 充実のワイヤレス機能で、より楽しく。 Bluetooth で 3 台同時にペアリングし、交互に音楽再生が可能となる「ソーシャルモード」機能を搭載。「ソーシャルモード」は、接続した複数のデバイスのうち、再生ボタンを押したデバイスの音楽が再生され、切り替えも簡単。アウトドアライフやホームパーティなど、さまざまなシーンで活躍します。また、Bluetooth3.0 対応なので、ハンズフリー通話が可能。

- ◆ 独特のチューブデザインにパッシブラジエーターを装備 独創的なチューブスタイルは音質に悪影響を与える内部定在波の発生を抑制。 本体側面にはパッシブラジエーターを装備し、厚みのある低音を実現。パワフルな音質を楽しめます。



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

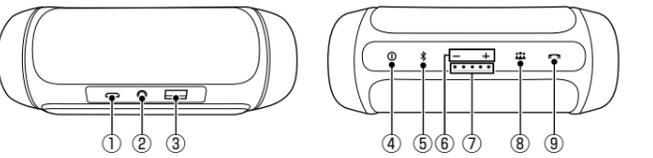
USB 対応 AC アダプタ

USB ケーブル（USB A - USB MicroB）（AC アダプタ接続用）

日本語取扱説明書（本紙）

保証書（日本国内用）

各部の名称とはたらき



- ① POWER（ACアダプタ接続）端子
- ② AUX IN（オーディオ入力）端子
- ③ USB 端子（電力供給用） iPhone/iPod/iPad、スマートホンやタブレットなどのポータブルデバイスに付属されているケーブルを本機に接続して、本機でデバイスを充電します。
- ④ 電源ボタン（） 電源を入れる / 切るたびにピープ音が鳴ります。

- ⑤ Bluetooth ボタン（）
- ⑥ 音量ボタン
- ⑦ バッテリーインジケーター 本機の電池残量の目安を確認できます。電池の消費にともない、インジケーターがひとつずつ消灯していきます。
- ⑧ ソーシャルモードボタン（）
- ⑨ ハンズフリーボタン（）

ご注意：

本機は両サイドにパッシブラジエーターを装備しています。

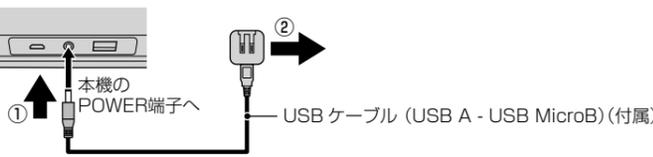
- パッシブラジエーターは振動する構造のため、壁面間近に設置すると、音質によっては効果を得られにくかったり、共振が起こりやすくなります。実際にお試しになって、設置場所を決めることをおすすめします。
- 破損の原因になりますので、パッシブラジエーターに手を触れたり、本機を立てて設置しないでください。

充電する

付属の AC アダプタで充電します。充電時間は約 4 時間*です。

* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- ① 付属の USB ケーブルを、AC アダプタと本体背面の POWER 端子に接続する。
- ② AC アダプタを壁面のコンセントに接続する。 本機は国内外でお使いいただけます。海外でご利用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。



充電中は、本機のバッテリーインジケーターがひとつずつ点灯していきま す。すべてのインジケーターが点灯したら充電が完了します。

電池残量について

本機のバッテリーインジケーターで、電池残量の目安を確認できます。ご使用中、電池の消費にともないインジケーターがひとつずつ消灯していきま す。インジケーターの点灯がひとつになったら、充電してください。

Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

ただし、別の機器とペアリングを行った場合は、その機器と接続されている状態のため、接続を解除し、前の機器と再びペアリングを行う必要があります。

▶ iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- 電源ボタンを押して電源を入れる。
- Bluetooth ボタン(📶)を押す。Bluetooth ボタンが点滅し、ペアリング設定状態になります。
- iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- デバイスから「JBL Charge 2」を選択する。デバイスに「接続されました」と表示され、本機でピープ音が鳴るとペアリングが完了します。ペアリングが完了すると、本機の Bluetooth ボタンが点灯します。

▶ その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

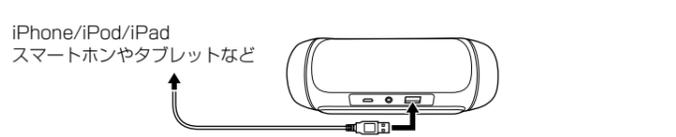
- 電源ボタンを押して電源を入れる。
- Bluetooth ボタン(📶)を押す。Bluetooth ボタンが点滅し、ペアリング設定状態になります。
- 相手側機器をペアリング設定状態にする。接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。Bluetooth ボタンが点灯すると、ペアリングは完了です。

本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したい機器の Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

<div><div></div>自動スタンバイモードについて</div>
<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div></div> <div>本機の電源がオンのとき、約5分間以上（AC電源でお使いの場合約10分間以上）音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的にスタンバイモードになります。スタンバイモードになったときは、本機の電源を入れてからデバイスを接続しなおし、デバイス上で音声の再生を始めてください。なお、自動スタンバイモードをオフにすることはできません。</div>

デバイスの充電を行う

本機は電力供給用の USB 端子を装備しています。iPhone/iPod/iPad、スマートホンやタブレットなどのポータブルデバイスに付属しているケーブルが USB 接続に対応している場合、本機にデバイスを接続して充電することができます。



iPhone/iPod/iPad スマートホンやタブレットなど

その他のオーディオ機器の音楽を聞く

市販の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使ってお手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。



3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブル（市販）

▶ 別の機器をペアリングするには

Bluetooth ボタンを押します。または、ペアリングしている機器の Bluetooth をオフにします。

別の相手側機器をペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

iPhone/iPod/iPad で設定する

- 音楽再生時に、 アイコンをタップする。



- ②「JBL Charge 2」をタップする。

その他の機器で設定する

▷ 接続した機器で再生を始める。

接続する機器によって再生の手順は異なります。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

▶ Bluetooth 接続を解除する

iPhone/iPod/iPad で解除する

「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オン」から「オフ」にします。

その他の機器で解除する

接続している機器を Bluetooth 設定状態にし、Bluetooth を「オフ」にします。

<div><div></div>自動スタンバイモードについて</div>
<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div></div> <div>本機の電源がオンのとき、約5分間以上（AC電源でお使いの場合約10分間以上）音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的にスタンバイモードになります。スタンバイモードになったときは、本機の電源を入れてからデバイスを接続しなおし、デバイス上で音声の再生を始めてください。なお、自動スタンバイモードをオフにすることはできません。</div>

<div><div></div>自動スタンバイモードについて</div>
<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div></div> <div>本機の電源がオンのとき、約5分間以上（AC電源でお使いの場合約10分間以上）音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的にスタンバイモードになります。スタンバイモードになったときは、本機の電源を入れてからデバイスを接続しなおし、デバイス上で音声の再生を始めてください。なお、自動スタンバイモードをオフにすることはできません。</div>

- 本機の電源を入れる。
- iPhone/iPod/iPad、スマートホンやタブレットなどのポータブルデバイスに付属しているケーブルを使って、本機とデバイスを接続する。充電が始まります。Bluetooth 接続をしていないときは、デバイスが満充電になると本機の電源が自動的に切れます。
 - 本機の電源を切ると、充電は中断します。
 - バッテリーインジケーターの点灯がひとつのときは、本機の電池残量がわずかのため、デバイスを充電することができません。
- 本機の USB 端子はデバイスの充電専用です。USB 端子にデバイスを接続しても、音声を聞くことはできません。

<div><div></div>自動スタンバイモードについて</div>
<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div></div> <div>本機の電源がオンのとき、約5分間以上（AC電源でお使いの場合約10分間以上）音声入力がなく、操作も行われない状態が続くと、自動的にスタンバイモードになります。スタンバイモードになったときは、本機の電源を入れてからデバイスを接続しなおし、デバイス上で音声の再生を始めてください。なお、自動スタンバイモードをオフにすることはできません。</div>

- 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル（市販）を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の AUX IN（オーディオ入力）端子に接続する。
- オーディオ機器または PC で音声を再生する。

- 他の機器と Bluetooth 接続している場合、Bluetooth 接続が優先されます。オーディオケーブルを使って接続する場合、初めに Bluetooth 接続を解除してください。

ハンズフリー通話を行う

iPhone・携帯電話・スマートホンとハンズフリー（HFP）接続すると、本機のハンズフリーボタンで iPhone・携帯電話・スマートホンの簡単な操作を行うことができます。ハンズフリーで待ち受け中は、本機のハンズフリーボタンが点灯します。

ハンズフリーボタンの操作		
状態	1 回押す	押し続ける
着信しているとき	電話を受けます。	着信拒否します。
通話中	電話を切ります。	本機から電話に通話を切り換えます。
通話中に別の着信があったとき	現在通話している電話を切り、着信している電話を受けます。	着信している電話を着信拒否します。
どちらの電話も着信 / 通話中のとき	両方の電話を切りま す。	押すごとに通話を切り換えます。

※ 機種により、一部の機能を使えない場合があります。
※ 携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 <p>オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。</p> <p>オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。</p>
音が歪む。	音量が上がりにすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 <p>別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。</p>

主な仕様

Bluetooth	Bluetooth3.0
伝送距離	Class 2（通信距離約 10m、障害なきこと）
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
音声入力	Bluetooth × 1、外部音声入力× 1
最大出力	7.5W × 2
使用ユニット	45mm 径フルレンジドライバー× 2
周波数特性	75Hz～ 20kHz
電池	6,000mAh リチウムイオン充電池
充電時間*	約 4 時間
連続再生時間*	約 12 時間
サイズ	幅 184mm ×高さ 79mm ×奥行き 75mm
質量	540g

※・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたりず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ 本機の廃棄について

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

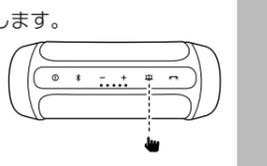
ソーシャルモードを使う

本機はデバイスを最大 3 台まで同時に接続することができます。

▶ デバイスを接続する

複数のデバイスを接続する場合は、以下の手順を行います。

- 1 台目のデバイスを Bluetooth 接続する。「Bluetooth 接続を行う」を参照して接続します。
- ソーシャルモードボタン()を押す。2 台目のデバイスの接続待機状態になります。
- 2 台目のデバイスを Bluetooth 接続する。
- 手順②、③を繰り返して 3 台目のデバイスを Bluetooth 接続する。



ソーシャルモード中の再生について

ソーシャルモード中は、再生ボタンを押したデバイスの曲が優先されます。

曲の再生中でも、再生ボタンを押したデバイスの曲の再生に切り替わり、再生していたデバイスの曲は一時停止になります。